

# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

## 第142回 例会報告 (9/22)

司会者SAA 萩生田 茂夫

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリング「奉仕の理想」

ソングリーダー 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

田中 洋一様 (東京日本橋RC)

布田 正昭様 (東京多摩RC)

篠塚 武雄様 ( " )

高取 渡様 ( " )

力石 輝夫様 ( " )

足立征三郎様 ( " )

斉藤 哲彦様 ( " )

小川 宏様 ( " )

北川 隆男様 ( " )

セルジオ・ヨネザワ様 (来日交換留学生)

### ◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

9月17日臨時理事会を開催致しました。その結果を報告致します。

①奥木、藤木両会員から推薦がありました。会員候補者、自動車内装工事の小林和夫氏について、入会の承認を致しました。

②シンポジウムについて、実行委員会の組織並びに役員構成について再確認し、クラブとし

ては特別事業費を據出して、実施に当たっては会員の全面協力をお願いすることとする。協賛企業の協力についてもこれを了承した。

③モンゴルからの研修生を迎える援助活動について、研修期間は12月9日から1月8日までの1ヵ月間社会福祉法人楽友会に於てモンゴルの看護婦3名と通訳1名のモンゴルからの往復交通費65万円と保険料約4万8千円、合計70万円に限定して援助する事と致しました。

財源については、クラブで先に決定した18万円に2万円増額し、20万円とする。不足額については、クリスマスバザーの売上げをこの事業に充当したい。又数か月をかけて「サインバイノー募金」と名付けて募集箱を設置する事を了承した。

④2750地区のインターアクト委員会の根石委員長から話があって、松が谷高校の生徒によるインターアクトを結成できる準備を進めて来たので近くのグリーンロータリーが提唱クラブになってほしいと推薦を受けましたが、準備体制が整っていない、予算なども組んでいないなどのことから結論は出しておりません。以上ご報告致します。

### ◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

① 新入会員候補者のお知らせ



9月17日(金)第6回理事会(臨時)において新入会員候補として小林和夫氏の会員入会推薦承認がなされました。異議のある方は本日より10日の間にお申出ください。

小林 和夫 小林工作所 代表取締役

推薦者 奥木 博勝、藤本 吉文

## ② IMの登録について

多摩三分区合同IMは10月20日(水)に開催され当クラブはIMに振替えとなっておりますが小金井RCより当日の出席者実数を掌握したいとのことで本日登録者名簿を回しますのて該当項目に印を付けて下さい。当日の出席者の名札につきましても事務局にて用意しなければなりませんので宜しくご協力下さい。

## ③ 「新しい多摩を考える・シンポジウム」

本年度の当クラブの二大イベントの1つとして理事会承認を頂き現在推進中であり「新しい多摩を考える・シンポジウム」につきましてはまだ会員の皆様に十分理解されておられない向きもあろうかと思っておりますので本日の例会を多少早めに切り上げ10分程度の時間を頂き説明させていただきます。

## ④ 例会場変更のお知らせ

東京飛日野RC

9月28日(火) ----- 会場変更

ホテルニューグランド八王子

10月12日(火) ----- 東京日野RCとの合同例会

その他は回覧致しますので御覧下さい。

催しは当クラブにとって始めてとも言える外部への行事ですので全会員の協力を得て是非成功させたいと考えます。尚実行委員会の組織を作成しましたのでご参照下さい。

実行副委員長 海野 栄一

趣旨説明書、パンフレット、プログラム等の企画と「シンポジウム」当日の運営がその役割です。先行しているパンフレット類の制作は試し刷りの段階で9月29日の例会には完了しお渡す事ができます。プログラムの方は現在作成中です。当日運営に関しては時間的余裕がありますのでいづれご提案してご協力をお願いする運びです。

実行副委員長 永田 健作

広報、動員と当日のアンケート実施などが役割です。広報活動としては、TAMAらいふ21協会、多摩市広報課を始めとして、新聞等マスコミ各社への働きかけを開始しております。一方宣伝チラシや新聞広告への準備も進行中です。

実行副委員長 足立潤三郎

協賛要請と入場者動員が役割です。協賛すなわち資金集めについては「募金」ではなく、又強制力を持つものではないということを前提に、各企業の協賛広告を募るという手段で行いたいと思っております。広告媒体としては新聞、チラシ、プログラム等を考えております。協賛企業としてこの種の催しに名を連ねるということは有意義なことだと思っただきご理解をお願い致します。会員企業の申込期限は9月29日まで、外部企業は10月6日までと致しますのでよろしくお願い致します。動員状況についてはその都度ご報告し、ご協力を仰ぎたいと考えます。

# 委員会報告

## ◆ロータリー情報委員会

委員 田中 實

配布されているロータリー豆知識を見て、知識を貯えて下さい。不明の点があれば情報委員までご質問下さい。

## ◆新しい多摩を考える・シンポジウム

「新しい多摩を考える・シンポジウム」の準備状況を三副委員長からご報告申し上げます。この

## 「シンポジウムの内容について」

会長 横倉 舜三

多摩大学学長、野田一夫氏に「多摩に期待するもの」というテーマで記念講演をお願いしております。パネルディスカッションの部では、新都市センター開発(株)の吉田公二社長、写真家の幡谷紀夫氏、女優の杉田かおる氏に私自信も加わって討論する予定です。パネラー各位と詳細の打合わせをして当日に備えたいと思います。



## 2750地区ガバナー

紫野 巖様

私は日本橋クラブの会長をやったんですが、会長の一年は幹事もそうですが、例会をどううまくもって行くかというのは、会長の取り仕切りでありますので、食事をゆっくり食べられないんですが、どうぞゆっくりやって下さい。



3年目というお話で、今年はそういう意味で大変大事な年だと思えます。本日は早朝からお伺いして、又そこでは非常に熱のこもったテーマに対するそれぞれのご説明、又ご意見を頂きました。それに参加して、大変良い勉強をさせて頂きました。お礼をまず申し上げます。

ガバナーの公式訪問というのは、ガバナーに課せられた仕事でありまして、出来るだけ早い期間に、出来れば最初の半年ぐらいに(年度の半年位に)全クラブを訪問するようになるということになっております。私も7月1日からこの仕事を頂きまして、精を出しているのですが、まだ今日は32番目でございます。全体、歴代のガバナー又はクラブが努力されて、私どもの地区には76のクラブがございます。年内に終わらないといけないということなんですが…。そこで何をするかというと、大きく分けて二つあります。一つはその年度のRI会長のRI全体としてのテーマを、1953年以来RIは提唱しておりますし、この年度はこのテーマであるということでありますので、こちらに掲げてある「行動に信念を、信念は行動に」というテーマについて、その背景なり或はその中で特に何処を注意すべきかというような点、一人一人に分かって頂くように最善を尽くしてご説明するということになっております。その他に訪問先のクラブ協議会に参加させて頂いて、そのクラブの「今何を考え、今年はどういう風に行くのかということ、或は問題点をお伺いして一緒に考える」ということがその次の目的でありますし、その中には卓話の時間を利用してRI会長のテーマをカバーし、更に足して、最新のロータリー情報をお伝えして皆さんのロータリー活動に対するご理解を深めるのに幾らかでも役に立つというようにというのが、ガバナーの公式訪問の目的であります。今月号の「ロータリーの友」に公式訪問について若干書か

せて頂いております。是非「ロータリーの友」をお読み頂くような雰囲気を作って頂きたいと思えます。先程も情報委員長が、非常にポイントを毎回ご説明しておられるので、このクラブは益々そういう意味の理解は深まると思えます。「ロータリーの友」はRIから機関誌として指定された数少ない(全世界でロータリー関係の機関誌といえますか情報誌は100ヶ国を越えますけれども、その中で機関誌として認証を受けているのはそれ程多くはないんです。)数年前に日本の「ロータリーの友」は優れた機関誌であるということで、ベストの賞を取っている位内容が充実していると思えます。たまたま、今年から「ロータリーの友」の委員長、副委員長等も変わりました。ロータリーの情報に関して身近なところに私どもの先輩が大事なポジションで活躍しておられるので、是非ともお読みいただきたいと思えます。左から開けて一ページ目にロータリーの用語が毎号載っております。大変先輩が苦勞して平易に分かるように説明して、毎年改善されております。来月号は職業奉仕の問題がでます。職業奉仕等はやはりロータリーに入った以上これが一番の基本ですが、毎日のご自分の仕事を通して社会に奉仕、世の中の為に役立っている。これが基本であります。ややもすると理論の上で(自分の頭の上で)何を一体やるのかというのが分かりにくい面もあります。それぞれの文化を背景に私どもの仕事に対する基本的な道徳なり、考え方に日本は大変進んでいます。ロータリーの職業奉仕としてどういうテーマを取り上げているのか、概念の説明が毎年「ロータリーの友」にあります。理論だけで無く概念でご理解されれば良いと思えます。ロータリーをエンジョイする為には、そういうことに対する理解を毎年その都度いろんなプログラムに参加してご自分のものにするのが大切な事だと思えます。IM、地区大会、国際大会で共通のテーマで討論に参加し、いろんなレベルでお互いに世界のそれぞれの場所で、ロータリーがどういサービスをコミュニティに対して提供しているか。これが社会奉仕です。これが今朝のテーマですけれど、色々工夫をしておられますので、それをお互いに参考にする事は、ロータリーの情報を学ぶという事でもあります。私も32番目のクラブですが、今日のお話を伺って大変いい勉強になりました。モンゴルとの国交が回復してまだ時間が無いんですが、最近いろんな点で交流が出てきて、こちらのプログラムもそういう点では大事なスタートだと思えます。言葉が難しいので通訳が活動するように、皆さんもバックアップして是非成功させて頂きた



いと思います。相手国にロータリーがありますと、財団から資金が出ますが、今回の場合はモンゴルにロータリーが無いので対象にはなりません。3年目でこういう素晴らしい企画をされる事は、大変立派な事だというように先程よりお話をお伺いしておりました。

今年は天候異常でありますので、義援金のお願いがいくつか来ております。これはあくまで目安として地区としては情報を流す訳でございますので、ひとつクラブの会長を中心にお考え頂きたいと思っております。クラブによっては資金を持っているクラブもあります。長い目で見ると先程のバナナ基金ではありませんけれども、地区でも是非集めたいとこなので今回初めてですが、若干剰余金が出ればそういう資金で特定の目的の為の基金を持つと思うております。おそらくその都度各クラブにはご連絡を申し上げて、賛意を取りながら資金を扱うことになると思います。昨年度始めた500円玉でも、一回の献金が500円玉でも2000万を越す基金が溜っております。これをどう使って行くかが今後の目的でありますし、まだ2000万ではという事で引き続き今年もこの募金活動を続けることにしておりますので、是非ご協力して頂きたいと思っております。地区には新しくバギオ基金と米山基金がありますが、米山基金は長年の間に70億を越える財団に、私どもが40年間掛けて作ってきました。ロータリーの原点は個々の人の活動であることは変わりはありませんが、会長中心にこのクラブがこのクラブなりにやりますと、モンゴルの方のお世話を見る事が出来る。それも又、更に多くなることも考えられるわけで、一年一年をそういう意味で大事にクラブを運営して頂ければと思うわけですが、それにしてもやはり増強していきまないと、ロータリーの活力はもう一つ停滞する事になるはずで、力を緩めるといけないので、増強の月間だけでなく年度を通してご協力願わないといけないテーマだと思っております。是非、先程も会長がおっしゃっておられましたが、今年度は出会いを大事にして、お互いの結び付きを更に強くし、その出会いを大切に増強にも是非力を入れていただければと思っております。

そこでRI会長のテーマですが、バースさんはスイスの人で清涼飲料水の製造と原料の提供の仕事で大学時代からやってこられた方です。ヨーロッパの業界の会長を歴任された方です。その経緯が7月号の「ロータリーの友」の数頁目に3頁にわたって、スイスのロータリアンの機関誌の編集長バーデルさんが記事としてまとめています。大変分かり易く説明してありますので、是非お読み頂

ければと思います。これはRI指定記事として、全世界に同じ記事が流れております。ロータリーは大変情報を大事にします。従って新年度に向かつてのことは、7月号に載っております。例えば今月ですと、今月の月間のテーマが載っております。情報委員長は是非そこを皆さんと共にはじゅうされればと思います。その7月号の中にバックグラウンドが載っておりますので、もう一度読んで下さい。非常にバランス感覚の優れた立派なビジネスマンであります。(略)その人が言う言葉ですので、素直にこのテーマを読みましょう。ロータリアンは「行動に信念を、信念は行動に」……。

7月号には新しいクラブの認証状の発行に関して出ております。7年前にロータリーは、こちらでもそうでしたけれども、ご婦人に門戸を解放しております。ところがアジア地区或はブラジルでもそうですが、女性だけのクラブが次々に誕生しているんですね。これも行き過ぎではないかとRIの理事会は考えまして、今後新しく認証を申請した場合には、ご婦人だけのクラブということではOKは与えることは出来ません。又、男性だけという申請もこれも遠慮して貰わなければいけません。という決定が出ております。そういうのはその都度出ております。こちらでは我が地区でいち早くご婦人が参加しておられるので、大変心強い訳ですが、我が地区にはもっと沢山のご婦人が参加しているクラブがあるんですよ。ミクロネシアですね。RIの基準というものが、段々合理性が出て来ております。我が地区にも3つのクラブに女性が参加しております。日本全体では340名ですからまだ0.2%です。どんどん、或は一つの増強のテーマかも知れませんが、ただあまり其れを強調すると、クラブによってはなかなか理事会を通らない向きもあるかと思っております。そんな記事が毎号載っております。それ程時間はかからないと思っておりますので是非読んで頂ければと思います。

又、ロータリーは全国世界中のネットワークを使いまして、大規模な災害に関する急報が来ますが、ロータリーは3Hプログラム(HEALTH、HUNGER AND HUMANITY)の三つ分野に関しては、その時点で考えていこうということになっております。これが島原以来伝統となっております。会長からその都度いろんな情報が参ると思いますが、今後とも是非よろしく願いしたいと思っております。

時間が一杯でありまして講評に触れることは出来ませんでしたけれども、今年一年色々お世話になります。よろしく願い致します。有難うございました。



◆出席委員会 委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本報 日告	51	41	3	6	88%
前訂 回正	50	43	3	3	93.88%

メイクアップ

赤尾 恭雄 (9/10 新会員R情報セミナー)

藤本 吉文 (9/21 多摩)

白井 博 (9/21 多摩)

出席免除者 1名

欠席届出者

菊池 敏、小坂 一郎、奥田 文夫、奥木 博勝

戸田 昭寿

欠席者 中山 恒武

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員 飯島 裕美

★★★★★★★★★★

布田正昭様 セルジオ ヨネザワ君を連れて参りました。ヨロシク

力石輝夫様 本日はお世話になります。

北川隆男様 お世話になります。

高取 渡様 お邪魔を致します。

田中洋一様 本日遅れて参上し、申し訳ございません。宜しくお願い申し上げます。

村上 久 バースデイカード有難うございました。子供達が似顔絵が旨いと褒めていました。

高野 範城 調布RCを相手に本年は9点とりました。昨年と比べると大勝利です。(野球)

橋口 洋三 セッカクの野球の試合に出席出来なかったのだ

大熊 将夫 多摩クラブの皆様、雨の中ようこそおいで頂きました。

猪股 末男 久しぶりで

大松 誠二 モンゴルから研修生がまもなく、やってきます。皆様よろしく

吉尾警太郎 親睦旅行全会員参加の程を……

宮本 誠 伊東さん入会おめでとうございませ

伊神 稔 お客様ようこそ

根本 泰守 9月バースデイカード有難うございました。例会特に卓話の時間の私語は慎みましよう。去る10日東京商工会議所で行われた時の意見でした。良い事なので守ろうと思ってます。

大熊 将夫 野球同好会の皆さん、ご健斗ご苦労様でした。

森田 舞子 新入会員をお迎えして!伊東様ようこそ

平野 行広 結婚記念と妻の誕生日と記念品を戴き有難うございました。妻からもよろしくお伝え下さいとのこと

小島周二郎 会報作りもやっと慣れました。

北村 幸彦 皆さんお久しぶりです。お客様ようこそ、「新しい多摩を考えるシンポジウム」も宜しく

横倉 舜三 伊東さんの入会をお祝いして。

以上 合計 43,000円

◆新入会員入会式

会員増強委員 橋本 幸夫



新入会員 ----- 伊東 巖様

推薦者 ----- 宮本 誠

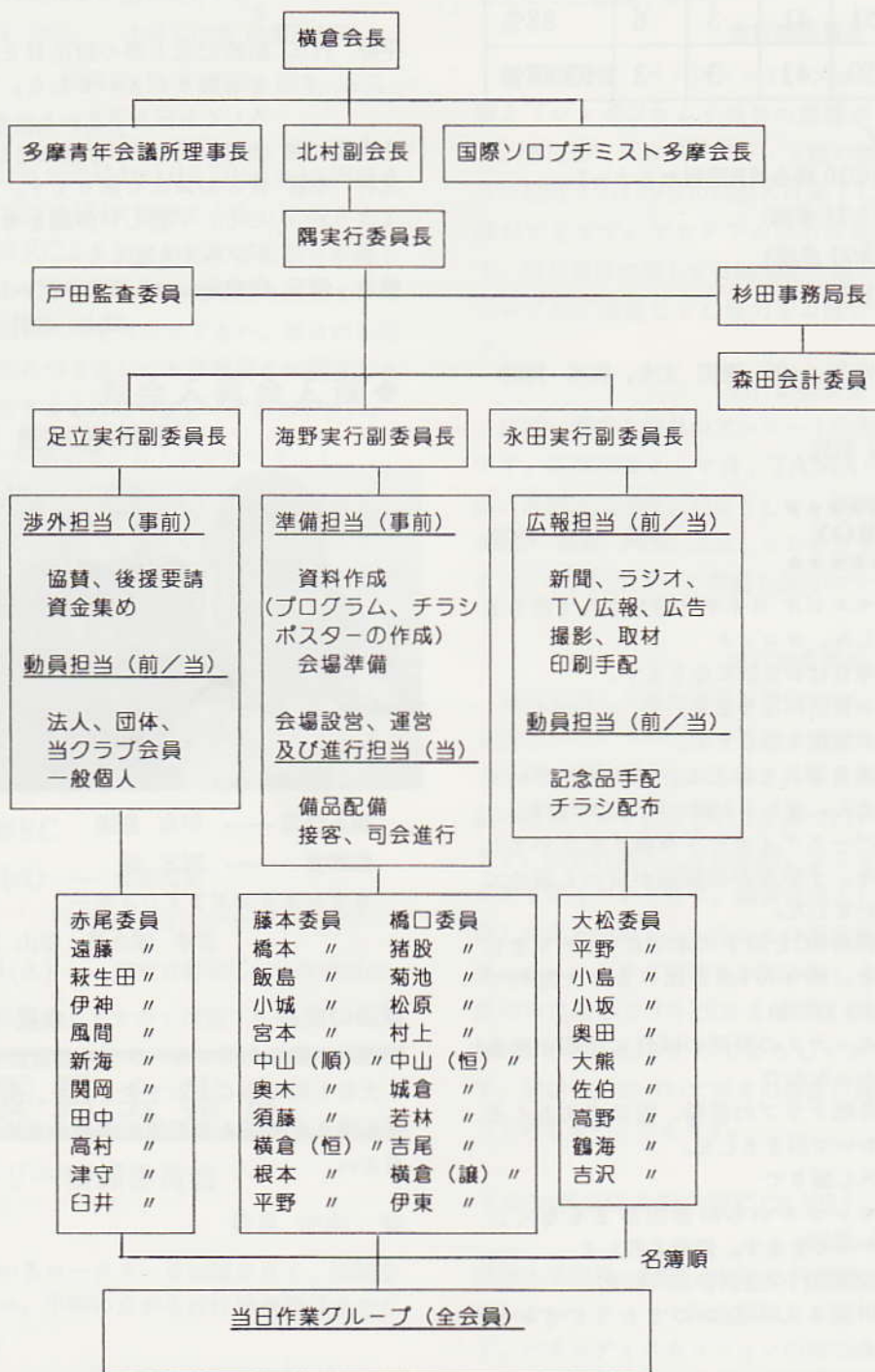
カウンセリングアドバイザー

宮本 誠会員、中山 順一郎会員

歓迎の挨拶

会長 横倉 舜三

伊東氏の参加を得て当クラブの会員数も51名となり大台を超えることができました。伊東会員も一挙に増えた仲間との交流を深めるため頑張ってください。



## 東京多摩グリーンロータリークラブ



会 長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子  
 幹 事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景  
 会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

事務局：東京都多摩市落合547  
 多摩センタービル7F  
 TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤパンケットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30